



FENICE SACAY

人形浄瑠璃
文楽

情念ともいえる女の一途な想いを
人間国宝・勘十郎が二つの役を演じます。

勘十郎のえがく
"お七"と"お三輪"

火 群

HOMURA

The
フェニーチェ文楽

© 渡邊肇 人形浄瑠璃文楽 伊達娘恋緋鹿子



出演
豊竹 呂太夫
鶴澤 清介
桐竹 勘十郎 ほか

演目
『伊達娘恋緋鹿子』
『火の見櫓の段』
『妹背山婦女庭訓』
『金殿の段』

© 渡邊肇(人形浄瑠璃文楽「妹背山婦女庭訓」)

2023 **3/4** (土) 15:00開演(14:15開場)

フェニーチェ堺 大ホール (1階席のみの販売)

全席指定・税込 **5,500円** 一般発売日 1月14日(土)10:00~

チケット予約 | 堺市文化振興財団チケットセンター 0570-08-0089

またはフェニーチェ堺のホームページ、各プレイガイド ほか

お問い合わせ | フェニーチェ堺 072-223-1000 第1・3月曜休館 祝日の場合は開館

※この番号では、チケットのご予約は承っておりません。

※未就学児入場不可。※やむを得ない事情により出演者及び公演内容が変更となる場合があります。※車いす席は堺市文化振興財団チケットセンターでご予約ください。※新型コロナウイルス感染拡大状況に応じた「感染拡大防止対策」を実施しております。

主催：フェニーチェ堺(公益財団法人堺市文化振興財団) / 制作協力：(一社)日本の伝統芸能
助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会



文化庁
Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

鑑賞が3倍面白くなる!

ワカル文楽 観る前セミナー

上演する2つの演目を事前に解説します。
鑑賞前にぜひご参加ください。

第1回

1月22日(日) 15:00~

講師：東 晴美 / ゲスト：桐竹勘十郎

第2回

2月26日(日) 15:00~

講師：東 晴美

セミナー参加費：各1,500円(税込)

申込受付開始：12/21(水) 10:00~

※詳細はホームページまたはセミナーチラシをご覧ください。



プログラム

※順不同

フェニーチェ鼎談

豊竹 呂太夫 鶴澤清介 桐竹 勘十郎が
各演目の見どころなどをお話しします。



©切り絵 杉江みどり

演目

※字幕あり

『伊達娘恋緋鹿子』 「火の見櫓の段」

『妹背山婦女庭訓』 「金殿の段」

配役表

『伊達娘恋緋鹿子』 「火の見櫓の段」

豊竹 希太夫 八百屋お七 桐竹 勘十郎

鶴澤 清公

鶴澤 清允

鶴澤 清方

『妹背山婦女庭訓』 「金殿の段」

豊竹 呂太夫 娘お三輪 桐竹 勘十郎
鶴澤 清介 豆腐の御用 吉田 玉志郎
清介 鱈七実は金輪五郎 吉田 ぜい
大 花四天 大 ぜい
吉田 紋市 吉田 秀市
吉田 紫郎 吉田 秀市
吉田 紫郎 吉田 秀市

官女
その他の人形遣い



©切り絵 杉江みどり

お囃子
望月太明藏社中

演目あらすじ

◆…今回の段のあらすじ

『伊達娘恋緋鹿子』 「火の見櫓の段」

近江国高島家の若殿左門之助は禁裏へ献上する天国（あまくに）の剣を紛失したため、詮議のために百日間の猶予が与えられた。そのお守役の安藤源次兵衛は切腹したが、江戸にいる一子、吉三郎と許嫁のお雛とが祝言することで、家を継ぐことになった。江戸吉祥院の寺小姓になっていた吉三郎は、火事で焼け出されて寺に預けられていた八百屋のお七と恋仲になったが、お七は父が再建資金を借りた方屋武兵衛を婿に迎えないければならなかった。八百屋の新宅に武兵衛が婿入りする夜は、剣詮議の期限でもあった。

◆吉三郎は左門之助切腹のお供をする覚悟をして、書置を残して去ったが、お七は、その剣を武兵衛が盗み持っていることを知った。お七は、吉三郎に届けようとするが、夜は町木戸が締められて通行ができない。お七は死刑を覚悟で火の見櫓の半鐘を打ち、木戸を開かせた。

『妹背山婦女庭訓』 「金殿の段」

中大兄皇子（後の天智天皇）と中臣（藤原）鎌足が、大豪族・蘇我入鹿を武力によって排除し天皇中心の新政を行った歴史的な事件「大化の改新」を題材として、いくつもの伝説を取り込んで人形浄瑠璃として織り上げ、後に歌舞伎にも取り上げられた近松半二ら合作の名作『妹背山婦女庭訓』。

◆舞台は奈良。自らが帝位につこうとする蘇我入鹿は、帝を御所から追いだし、横暴の限りを尽くす。しかし、帝の復権を願う藤原鎌足らは、服従したと見せかけ秘かに反撃の時を伺っていた。

三輪の里、杉酒屋の娘お三輪は烏帽子職人の求馬（実は藤原鎌足の嫡男、淡海）に想いを寄せる。しかし、求馬のもとへ他の女が訪ねてくるのを見て、嫉妬の心に火がともる。女が帰るのを求馬が追う姿を見たお三輪も後を追う。

◆たどり着いたのは、入鹿の住む館。大勢の官女たちに虐められ、さらに奥では求馬と女（実は入鹿の妹橘姫）が祝言をあげようとするのを聞き、逆上したお三輪は奥へ入ろうとする。そこへ漁師鎌七（実は金輪五郎今国）がきて、お三輪に刃を突き立てた。なぜ、お三輪は…。

チケット予約

フェニーチェ堺

WEB [フェニーチェ堺 検索 https://www.fenice-sacay.jp/](https://www.fenice-sacay.jp/)

TEL 堺市文化振興財団チケットセンター 0570-08-0089

※一部携帯・CATV接続電話・IP電話からはご利用いただけません。

窓口 1/16(月)から発売 (各館の休館日・営業時間にご注意ください) ※チケット残数がある場合のみ

[フェニーチェ堺は休館日のため窓口販売は1/17(火)より、残席がある場合のみ]

※堺市立樹文化会館・東文化会館・アルテバル(美原文化会館)窓口でも購入できます。

プレイガイド

チケットぴあ <https://t.pia.jp/> [Pコード 516-773]

ローソンチケット <https://l-tike.com> [Lコード 51340]

e+(イープラス) <https://eplus.jp/fenice-sacay/>

公演に関するお問い合わせ

フェニーチェ堺

Sakai Performing Arts Center
(堺市民芸術文化ホール)

072-223-1000 (9:00~20:00)

[第1・3月曜休館 祝日の場合は開館]

※この番号では、チケットのご予約は承っておりません。



フェニーチェ堺(堺市民芸術文化ホール)
〒590-0061 大阪府堺市堺区翁橋町2-1-1
南海高野線 なんば～堺東 約10分 / 堺東駅から徒歩8分

アクセス